

ふれあい

～平成24年3月1日発刊～



病院理念

『より質の高い 心あたたまる医療の実現』

基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
2. 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
3. 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
4. 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
5. 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
6. 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

院内広報誌『ふれあい』

患者様ならびにご家族の方々に病院をよく知っていただき
職員と患者様の交流の場となる誌面をめざしています。

千歳市北光2丁目1番1号
市立千歳市民病院
編集長 大田 光仁
事務局 総務課総務係
0123-24-3000(内線 231)

病院機能評価 (Ver 6.0) の認定を受けました

市民病院では病院理念である「より質の高い 心あたたまる医療の実現」に向け、(公財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver 6.0) の更新認定を受けました。



● (公財) 日本医療機能評価機構とは？

(公財) 日本医療機能評価機構とは、医療への信頼と質の向上を目的として、厚生労働省や日本医師会をはじめとする医療関係団体が出資して設立した公益財団法人です。

● 病院機能評価とは？

(公財) 日本医療機能評価機構が病院に必要とされる機能を中立的な立場で評価し、その改善を支援するものです。

次の6つの専門領域にわたる352項目すべてにおいて一定水準以上の評価を受けた病院に、認定証が交付されます。ひとつでも基準を満たさない場合は、同機構の指導のもと改善を進め、再審査を受けます。

第1領域	病院組織の運営と地域における役割
第2領域	患者の権利と医療の質および安全の確保
第3領域	療養環境と患者サービス
第4領域	医療提供の組織と運営
第5領域	医療の質と安全のためのケアプロセス
第6領域	病院運営管理の合理性

● なぜ病院機能評価を受審するのか？

医療サービスは、医師、看護師等様々な専門職種の職員の連携によって提供されていますが、医療の受け手である患者さんのニーズを踏まえ、質の高い医療を効率的に提供するためには、医療機能の一層の充実・向上を図る必要があります。医療機関の自主的な取り組みはもちろんのこと、第三者による中立的・客観的な立場からの評価により、その取り組みをさらに効果的なものにしていくことが求められます。

● どのような審査が行われるのか？

平成23年10月26日から28日の3日間の日程で、評価調査者(サーベイヤー)4名が実際に病院を訪れ「訪問審査」が行われました。「訪問審査」では、マニュアルをはじめとする各領域の活動に関連する書類の確認を行ったほか、院長や各部門責任者等に対する面接やサーベイヤーが病棟・各部署を訪問し、業務の状況等について職員に質問を行いました。

● 認定を受けることによるメリットは？

病院機能評価の認定を受けることにより、次のような効果が期待できます。

- ① 適切な診療・看護はもとより、効率的で機能的な組織運営、医療安全対策や院内感染防止の取組み、患者に対する十分な説明と同意を得る手段の確立、療養環境の整備、接遇サービスの向上など病院に必要とされる医療機能すべてにおいて一定の改善が進み、医療の質の向上が図られます。
- ② 医療の精通した第三者機関による高い評価を得たことで、安全で安心して質の高い医療が受けられる病院としての信頼性が高まります。
- ③ 職員自ら問題意識を持ち、患者の視点に立った運用や業務改善に取り組むなど職員の意識改革が図られます。

● 認定を受けている病院数は？

平成24年1月時点で、全国8,650病院のうち、約3割にあたる2,452病院が認定を受けています。

また、道内の33市立病院のうち、当院を含め約3割に当たる10病院が認定を受けています。

なお、当院は平成18年に初めて医療機能評価の認定(Ver 5.0)を受け、今回は最新の基準(Ver 6.0)での更新となりました。

● 認定期間は？

平成23年12月18日～平成28年12月17日までの5年間です。

乳癌検診を受けましょう！

乳癌はライフスタイルの変化に伴い、近年日本女性でも急増しています。その発症率は20人に1人と言われており、年間4万人以上の方が乳癌を発症し、亡くなる方も多数にのぼります。しかし乳癌は自分で発見できる病気です。自己検診をすることにより早期発見が可能で、さらに定期的な乳癌検診を受ければより早期の段階で見つけることができます。2cm以下で発見された場合、適切な治療を行えば90%以上は完治できます。

=乳癌になりやすい要因=

- ① 月経のある期間が普通の人より長い（出産経験がない、35歳以上で初産を経験した等）。
- ② 近親者（母親、姉妹など）に乳癌になった人がいる。
- ③ ピルや女性ホルモン、ステロイド剤を内服している。

=年代別乳癌検診のポイント=

20代：近親者に乳癌になった人がいる方は、定期的に超音波検査やマンモグラフィ検査を医師と相談して行いましょう。

30代：年1回、視触診と超音波検査を組み合わせた検診をお勧めします。乳癌発症のピークは40代ですが、30代での発症も少なくありません。

40～50代：乳癌発症のピークです。年1回、視触診とマンモグラフィ検査を組み合わせた検診を是非受けましょう。

60代以降：2年に1回、視触診とマンモグラフィ検査を組み合わせた検診を受けましょう。70歳を過ぎると発症のリスクは低くなります。

=自己検診方法=

- ① 鏡の前で両腕を上げてみるなどして、左右の乳房の形に違いがないかどうか、ひきつれやくぼみがないかをチェックします。
- ② 次にあおむけになり、両手の人差し指と中指で乳房をまんべんなく触りしこりがあるかどうかをチェックします。とくに外側上部は乳癌のできやすい場所なので念入りに触ってください。脇の下にしこりがないかもチェックしましょう。
- ③ 最後に乳頭をつまんでみて分泌物が出ないかどうかチェックしてください。

* 自己検診は月に1回、生理が終わった4～5日後に行ってください。

当院では3月下旬に乳癌に関する市民健康講座を開催する予定です。乳癌検診や乳癌治療のお話をさせていただきますので、興味をお持ちの方のご来場をお待ちしています。



文責 市立千歳市民病院 外科 福島 剛

乳癌検診についてのお問い合わせ先：健診センター

電話 0123-24-3000（内線：270）

市民健康講座についてのお問い合わせ先：地域医療連携課

電話 0123-24-3000（内線：138）

初期臨床研修を終えて

私は平成22年3月に大学を卒業し、同年4月より初期臨床研修を開始しました。学年の同期の多くは大学での初期研修を希望していましたが、自分としては、将来専門としたい科も漠然としか考えていなかったため、広く一般的な病気の診療を経験できる機会の多い市中病院での研修を希望し、ここ市立千歳市民病院で2年間お世話になることになりました。

初期研修を終えて、今感じるこの病院で得た自分の強みは、ひとりの患者さんを様々な側面から診療できるようになったことだと思います。2年間でローテートした科は、内科、循環器科、消化器科、麻酔科、精神科、外科でしたが、救急外来での診療等を通して、ローテートしていない科でも様々なことを学び、実際の診療に携わることができました。

私はこの2年間で専門を外科に決めたので、今後4月からは、外科医として新たな生活が始まります。3年目以降他の病院に行ったとき、「あの先生使えないなあ。どこで研修受けたんだろう？」ではなく、「あの先生できるな。どこで研修してきたんだろう？」と思われるように、あと残り数ヶ月ですが、最後まで研修に励もうと思います。

市民の皆さん、ありがとうございました。

研修医 蔵谷 勇樹



放 射 線 科

放射線科には診療放射線技師が7名所属しています。診療放射線技師とは病院などの医療機関において、医師からの指示のもと放射線等を用いて撮影・治療を業務とする国家資格を有する医療技術職です。画像から病気を発見・診断する「画像診断」に関わる業務であり、一般撮影をはじめ、CTやMRI、核医学、血管造影といった多岐にわたる業務を担っております。我々診療放射線技師は日々最新の知識を得て、技術を磨き、病気の発見・治療のお役に立てるよう取り組んでいます。主な業務についていくつかご紹介します。

☆主な業務（検査・撮影）

◎一般撮影

広く「レントゲン写真」と言われ、X線という放射線を用いて主に胸部や腹部、骨といった部位の撮影を行います。診療放射線技師の最も基本となる業務です。全身合わせて150種類以上の撮影方法があり、その中から患者さんの状態・検査目的に合った撮影法を選択し撮影します。

◎CT：Computed Tomography

X線を用いて身体の断層画像を得ます。X線を用いるため被ばくはありますが、胸部や腹部、頭部、骨といった全身の検査が可能で、様々な疾患において適応があり有用性の高い検査です。

◎MRI：Magnetic Resonance Imaging

強い磁気と電波を用いて身体の断層画像を得ます。放射線を使用しないので、被ばくがありません。強い磁気を用いるため、ペースメーカーやMRI非対応の体内金属を埋め込まれている方は検査ができないといった制限がありますが、造影剤を用いずに血管撮影や脳血流を撮影でき、他の検査ではわからない靭帯や半月板といった軟部組織も観察できる利点があります。

☆最後に・・・

東日本大震災以来「被ばく」への関心が高まっています。患者さんが検査で受ける被ばく量は全く問題ありませんが、もし不安やご質問がございましたら放射線や被ばくの専門家である我々診療放射線技師にお気軽にお尋ねください。

文責：放射線科 診療放射線技師 奥山 憲輔

編集後記

今年は日本全体、例年にない極寒の冬でした。やっと3月になり春は来るんだなと実感が湧いてきた今日この頃です。家の中にいることが多かった分、春の陽気に誘われたら今年こそ健康とエコのためにもウォーキングはどうかと考えていますが・・・さてさて・・・

4階東病棟 森木 真澄

患者様の権利と責任

当院では、患者様の人権を尊重し、患者様と医療従事者が信頼と協力のもと、より質の高い心あたたまる医療を実現するため、『患者様の権利と責任』を定めています。

1 医療を受ける権利

どなたでも公平に、安全で適切な医療を継続して受けることができます。

2 知る権利

ご自分の病状や検査、治療について、理解し納得できるまで十分な説明を受けることができます。また、ご自分の診療録(カルテ)の開示を求めることができます。

3 自分で決定する権利

十分な情報提供を受けたうえで、ご自分の意思により検査や治療に対する同意や選択、拒否を決定することができます。

また、他院の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求めることができます。

4 プライバシーの権利

診療の過程で得られた個人情報や病院内での私的なプライバシーが保護されます。

5 参加と協力の責任

これらの権利を守るため、患者様には医療従事者とともに医療に参加し、協力することが求められます。

- ① 現在の病状や過去の治療歴について、できるだけ正確に教えてください。
- ② 検査や治療は、必要性和安全性を十分理解したうえで受けてください。
- ③ 他の患者様の権利を尊重し、職員の業務に支障をきたさないよう、病院内のルール・マナーを守ってください。
- ④ 医療費の請求を受けた時は、速やかにお支払いください。
- ⑤ 臨床研究や医療従事者の教育にご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成 22 年 4 月 1 日
市立千歳市民病院 院長

『患者様の権利と責任』について、何かご意見がありましたら承りますので、ご遠慮なく医師、看護師、その他の職員もしくは【患者様相談窓口：1階医事カウンター①番窓口】までお知らせください。

患者様からいただきましたご意見を尊重し、日常の診療の改善に役立てたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。